

胆江だより

(社) 岩手県歯科衛生士会 胆江支部
平成21年度 No. 2
2010/1/13 発行
編集者：乃川 恵利子



例年行事として、我が家の彰武館で初稽古が行われました。【元旦】

寒の入りも過ぎ、いよいよ寒さも本番をむかえました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、衛生士会胆江支部としての活動も残り少なくなりました。そこで、前回の胆江だより以降に行われた活動報告を掲載したいと思います。

◎奥州市歯科医師会例会での発表報告

藤森 香奈

日時：平成21年10月7日（水） 午後7時～（15分間）

場所：水沢サンパレス

演題：岩手県歯科衛生士会 胆江支部 歯の衛生週間行事8年間の取り組み
『いきいき歯っぴいライフ』のあしどり

歯科医師会での発表は、県の歯科衛生士会から胆江支部の歯の衛生週間行事の活動内容が評価され、5月の総会の日には会員の前で発表した内容です。思いのほか好評で、多くの会員より支部会員のまとまりの良さ、内容の発想、歯科医師会との連携の良さなどの評価を受けました。いつも協力・援助をして頂いている奥州市歯科医師会の先生方が集まる時に、お礼を兼ね、県で発表した内容を報告する機会を作って頂きました。

当日は藤森が発表し、支部会会長松平、歯の衛生週間行事リーダー千葉（征）、早川、中野の5名でアンチエイジングの実践発表をしました。歯科医師会の先生方がアンチエイジングの5項目を一緒に体験して下さった時は大変感激しました。

非常に好評で大きな拍手と「今後も一緒に頑張っていきたいと思います」というあたたかいお言葉を、奥州市歯科医師会会長吉田様から頂いた時は、とても嬉しかったです。と同時に、歯の衛生週間行事のみならずこれからの活動もますます精進していきたいと思えました。

Thank
You!



◎親睦会リーダーからの報告

(担当者：菅原 恵美子・千葉 征子)

今年度の親睦会は、昨年9月15日(火) pm7:00からプラザイン水沢、1階 カトル・セゾンにて開催しました。参加者7名と、少し寂しいかと思われましたが、会が始まると、衛生週間行事の苦労話や、「孫がうまれた!」「新婚生活はどう?」など、家庭や職場の事にも話が弾み、大盛り上がり!! 加えて、料理の美味しいこと!! 厳選された「こだわり食材」でグーンと美味しくアップ!のふれ込み通り!! 料理が出る度歓声が出、食べ方は納得、満足の声をあげていました。

毎年会員が楽しみにしている(...と思われる) この会は、活動前半の慰労と、後半の活動に対する協力要請もあり、相互の親睦を計る場として、欠かせない行事になっています。

今回もその目的を果たしたと思われませんが、参加された方々はいかがでしたか!?

参加されなかった皆さん! 来年度は是非とも参加されますようお待ちしております。また、こんな物が食べたい、このお店でと希望がありましたら、係まで連絡をお願いします。対処します。



◎地域歯科保健活動リーダーからの報告

(担当者：斎藤 真喜子・千葉 道江・菊池 ゆり子)

聖愛園における職員口腔ケア勉強会の実施報告

活動の趣旨

依頼されたテーマやケースにどのように対応してどのように発表するかということとは私達にとっても研修の機会であり、また、口腔の大切さを伝える機会でもあります。

1) 取り組み

場 所	特別養護老人ホーム聖愛園 (江刺区)
勉強会開催日時	10月27日 (火) 午後6:30~8:00
対象者	ホーム職員 ディサービス職員 ヘルパー職員など
依頼テーマ	「口腔ケアの際に拒否を示す入所者さんへの対応はどうすればよいか」
準備期間	6月~10月 (最終評価 11月28日)
内容	1、口腔ケア現場への介入 (現状の把握、分析・対策の決定、実施、評価) 2、勉強会の実施 (プログラムの作成、映像資料の作成、実習の企画と準備)

2) 口腔ケア現場への介入

〈対象者〉	6名（拒否5名、口腔乾燥による清掃困難者1名）
〈現状の把握〉	6月～8月 活動回数5回 紙面情報 介護職員による事前の拒否回数のチェック 口腔内の観察、摂食状況の観察、介護職員による口腔清掃の観察。
〈分析・対策の決定〉	8月23日 活動回数1回 便宜上、厚生省発行の口腔機能向上関連の記録様式を使用
〈実施〉	9月1日～9月27日 プランに基づき、介護職員が実施
〈評価・再検討〉	9月～10月 活動回数4回

①実施が難しいとの反応有り（9月3日）

反省と対応

私達が介入してみても、拒否されて実施できないという程の反応ではなかったが、誰が行っても、心地よいブラッシングの実行という対象者の感情や感覚に配慮したプランに変更した。また、それに伴う手拭や物品の選択と提供を行った。

《ゲンキfブラシ、デントエラック51OS、保湿ジェルを使用》

②対象者1名の飲み込みの様子がおかしいと相談される。（9月27日）

対応：観察、説明、受診の勧奨

経過：衣川歯科診療所の佐々木先生の訪問診察を受けた。（10月21日）
（摂食介助上の注意を示された）

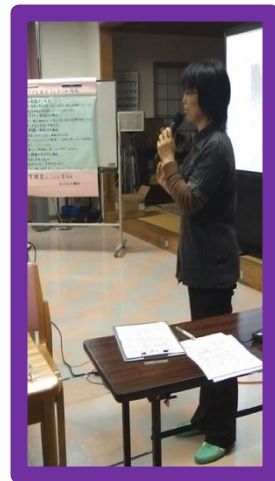
〈介護職員に感想を聞く〉・・・勉強会で一言発表 活動回数1回

〈最終評価〉 活動回数1回

- ・対象者にとっても介助者にとっても口腔ケアが楽になったようだ（比較写真感想）
- ・食渣は取れているがプラークが残っているケースがある。
- ・食事支度の立場からも口腔ケアの大切さを発信できた。

〈今後の課題〉

- ・適切な物品の紹介と購入方法を提示できるようにすること。
- ・対象者と介助者、それぞれの状況を理解すること
- ・お口の様子がおかしいと分かる目と言える関係性をつくること。



3) 勉強会の実施

当日の参加者38名

相互実習のねらい・・・対象者の理解と手技の実際を学んでもらう。

《プログラムとタイムテーブル》

開会のことば
講義
挨拶とのことば

1) 症例発表 全6ケース

職員からの実施後の報告や感想

2) 実習

認知症の疑心体験下
(めかくし)のブラッシング(全員)
心地良く、効果の高い歯ブラシの叩
(2名)
口腔乾燥、皮付着体験(全員)

3) 症例発表

4) 実習

嚥下障害の体験(捕食と咀嚼と嚥下
唾液腺マッサージの効果と実技)

5) まとめ

食事と口腔ケア

6) 質問

終わりのことばと挨拶・閉会のことば



◎勉強会リーダーからの報告

(担当者：乃川 百合子・中島 昌子・千葉 茜)

「ハンドシャープニング ペリオスターでシャープニング」

講師 歯科衛生士 横山 沙織 【(株)白水貿易】

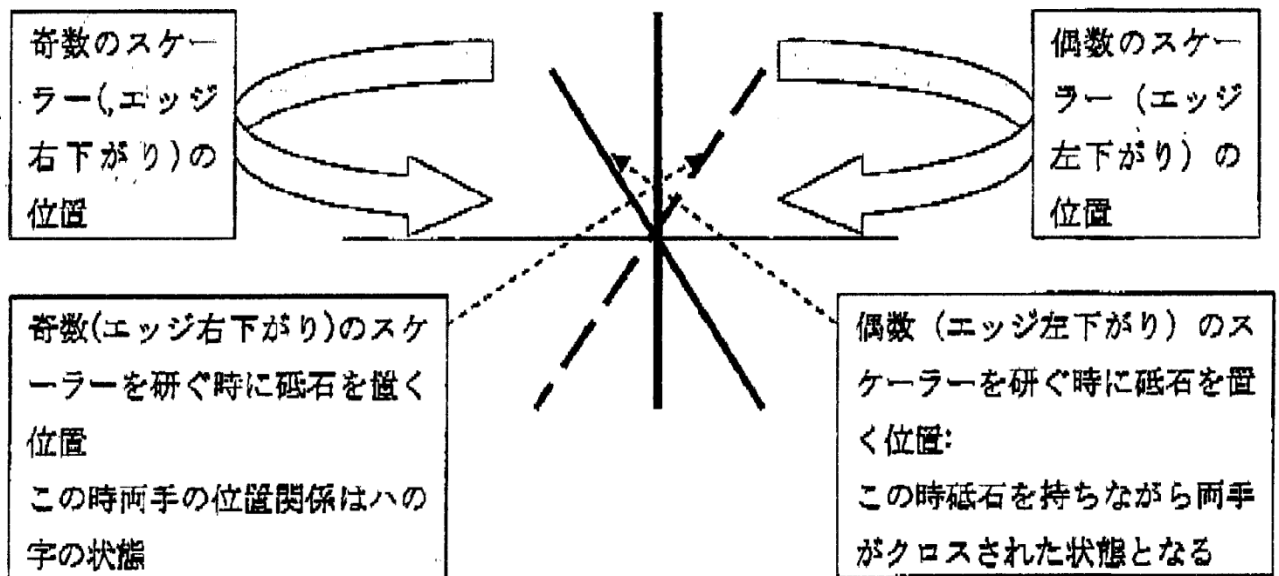
第1回の勉強会は、会員8名・会員外2名の参加を頂き、白水貿易の歯科衛生士横山 沙織先生をお招きし開催されました。

基礎知識の確認後、2グループに分かれて実技をしました。

高価なものから安価な機材、あるいは、ストーンでシャープニングと、短時間であっという間に終わりの時刻を迎えてしまいました。

患者様のために、よりシャープなキュレットで効率よく歯周処置していくために、日々研鑽していきましょう。

シャープペンライトガイドを使用したシャープニング (参考資料1)



● 保持関係

スケーラー：左手

砥石：右手

● 奇数のスケーラーのシャープニング

スケーラー：緑の矢印内にスケーラー番号に合わせセット

砥石：点線の赤ライン

● 偶数のスクレーラーのシャープニング

スクレーラー：ピンクの矢印内にスクレーラー番号に合わせセット

※よってこの時両手はクロスするようになります

砥石：赤のライン

● 砥石とエッジの関係

始点をヒール部に合わせる。砥石とエッジの接触点をヒールからトゥへ動きを止めることなく移動させる

● トウのシャープニング



トウは必要な時のみ行う

シャープニングが必要な時

丸みがない時(トウが角ばっていたり、尖りかけている、又は尖っている時)

トウシャープニング方法

エッジのシャープニング終了後、そのままスクレーラーを砥石に向かって回転させる。

回転範囲は、エッジの内面が反対に向くまで回転させる

白水貿易株式会社

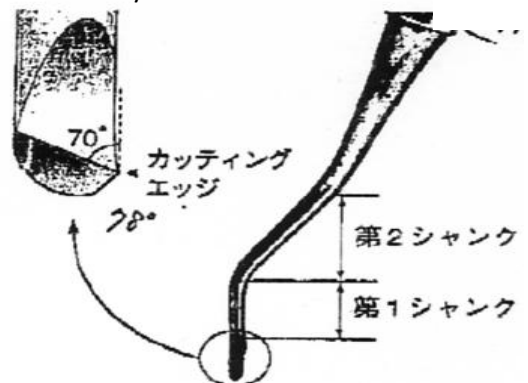
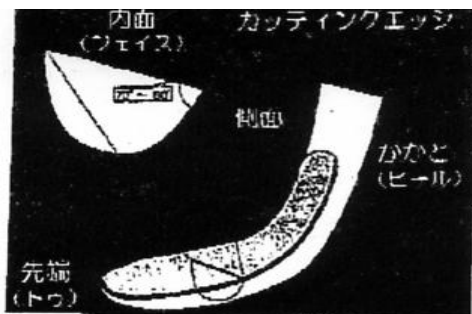
シャープニング(参考資料2)

● グレーシースクレーラーのデザイン、名称
ユニバーサルスクレーラー

・近心：11/12の改良

・遠心：13/14の改良
17/18

15/16



第1シャンク：ローワーS：ターミナルS
第2シャンク：アッパーS：

●原則

形態をくずさないで、カッティングエッジを鋭利にする。

●ストーンの比較

名称	種類	粒子	潤滑剤	用途
ルビー;カーボR	人工	粗い	水	形態修正
インディアナ	人工	↓	油	荒研磨
アーカンサス	天然		油	日常のシャープニング
*セラミック	人工	細かい	なし(水)	日常のシャープニング

潤滑剤について：使用目的は摩擦熱を減らす為に使用
金属粒子により砥石の表面が目詰まりするのを防ぐため。

●切れ味のテスト

☆正確にシャープニング出来ていれば、カッティングエッジは細かい一定の線を描き、側面は一面の帯状に光を反射する。

☆テスト棒(プラスチック)を使用する際は、スケーラーの第1シャンクをテスト棒と平行して切れ味のチェックをする。

白水貿易(株)関東支店 営業課

第2回勉強会 「口腔ケアの実践」

講師 清水 潤 先生 (まごころ病院口腔外科長)

第2回の勉強会は、会員12名・会員外3名の参加を頂き、まごころ病院口腔外科長

清水 潤 先生をお招きし開催されました。

先に開催された、奥州保健所主催・奥州市歯科医師会共催の「高齢者入所施設等に於ける口腔ケア推進事業」技術研修会をふまえての講習内容となりました。

さらに、施設の口腔ケアに関わっている会員4名による実践報告と今後の口腔ケア

等の問題提起をしていただきました。

清水先生の助言を頂きながらのディスカッションは、本当に時間超過しても続

